



東日本大震災復興支援 ひとりの小さな手プロジェクト通信 NO.3

2011. 10. 28

秋も深まり、冬の訪れが間近に感じられる季節となりました。寒暖の差も大きく、体調管理の難しい時季ですが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。東北地方では、最低気温が10度を下まわる日もあるとのこと、本格的な冬支度に向かう被災地に思いを馳せつつ、「ひとりの小さな手 通信 第3号」をお届けします。

仙台の支援グループの清水さんという方と、時折、電話で連絡を取らせていただき、被災地の様子などを伺っています。清水さんのグループの方々は、ご自身も大地震の被災者でありながら、津波の大きな被害からは免れたということで、津波の被害の大きかった地域に各地からの支援物資を届けたり、被災地の子どもたちのためのライフジャケットやヘッドライトを調達したりなど、様々な支援活動をされています。

私たちも、野毛山幼稚園、教会、教会学校の皆さんから寄せられた義援金、支援物資を送らせていただいておりますが、清水さんは、「皆さんから送っていただいた物資は、何一つ無駄にすることなく、すべて被災地の方に届け、喜んで役立てていただいております。」とおっしゃってくださいます。かなり落ち着いて生活できるようになってきた地域もある一方、まだ生活物資を求めて公民館に行列ができるような地域もあるそうです。各地から集まる数多くの段ボールを仕分けし、必要な方々に運搬するという大変な作業をしてくださっている支援グループの方々に感謝しつつ、私たちも、自分たちにできることを求め祈り、行動していきたいと思えます。

さて、支援グループの清水さんに関することで、今回は、別のお知らせがあります。先日、清水さんから、「私から、横浜の子どもたちに安全な昆布を支援したい。」というお申し出をいただきました。実は、清水さんのご親戚に日高昆布の製造、販売をしている方がおられ、昨年とれた昆布が手に入るので、ぜひ、子どもたちのために使って欲しい、とのことでした。ご自身の経験も踏まえ子どもたちの健康を心配してくださる清水さんのご厚意に感謝し、昆布を大切にに使わせていただきたいと思います。幼稚園のランチにというお話だったのですが、とてもたくさん送ってくださいましたので、各ご家庭にもお分けしたいと思えます。どうぞ子どもたちの食事のためにご活用ください。

大震災後、子どもたちへの放射能の影響を懸念しながらも、原発事故の影響を受けた地域の農家の方々のことなどを思い、食品選びに苦慮するという状況があるかと思えます。「食べる」というのは毎日毎日くり返される、子育てをしている者にとっては本当に大きな問題です。しかし、子どもたちの未来を考える時、私たちにできることは何か…。一面的に考えて流されるのではなく、様々な面からしっかり考えることが大切です。自分のことだけを考えるのではなく、日本の、そして世界の子どもの未来が光あふれるものがありますようにと祈りつつ、感謝して日々を過ごしていきましょう。

ひとりの小さな手 ♪

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇9月16日(金) ガレージセールのご報告

たくさんの方々のご協力ありがとうございました。

献品コーナー 48330円 ケーキコーナー 50600円 HANAHANA 39000円
合計137930円の中から、ひとりの手プロジェクトに87930円が委託されました。

◇支援物資の発送

○野毛山幼稚園卒園生保護者(元テフ調理員)からの紹介である仙台の被災地支援グループへ

9/12(月) 段ボール8箱 発送

食器(お皿・ティーカップのセット など)

台所用品(鍋、フライパン など)

食料品(缶詰、レトルト食品、びん類、お茶、デザート など)

タオル、シーツ、綿毛布、ひざ掛け、ベビー布団

冬物衣類

洗剤、石けん、はぶらし など生活用品

9/26(月) 段ボール3箱 発送

食器類、台所用品

男性用 礼服、冬物衣類

女性用 冬物衣類、下着、パジャマ、靴

タオル、ハンカチ

バッグ、袋類

9/26(月) 支援金50000円振り込み

その他 食料品購入 配送 めんつゆ1^{リットル}×12本

煮込みラーメン96食

インスタみそ汁10袋×5

10/17(月) 段ボール1箱 発送

綿毛布、冬用シーツ

男性用ダッフルコート

バスタオル、タオル

化粧品、衛生用品など

10/24(月) 段ボール3箱 発送

食器類(カップ、スプーンセット、紅茶ポット)

台所用品(鍋、焼き網など) 食品(おせんべい、和風だし)

ホットカーペット バッグ類 男性用靴下

婦人用 コート、半てん、セーター、パジャマ、靴下、スニーカー

化粧品、香水、ひげそり、マスク など生活用品

写真立て、文房具 など雑貨 おもちゃ

◇今後の予定

○11/11 (金)

シンガーソングライター

きたがわてつさんチャリティーコンサート

19:00～ドリンク付 おとな 2000円

11のねがい ～被災地へ 想いを馳せて～

きずな ふるさと いのち けんぼう
きぼう こども しぜん おんがく
おおぞら へいわ ゆめ

きたがわてつさん…

岩手県北上市生まれの日本のうたごえ関係のシンガーソングライター

入院中、ベッドで聴いた音楽に感動し「人に生きる喜びを届けよう」と1975年より演奏活動を始める。日本国憲法前文の条文をソフトロックで歌い上げたこの曲は1983年に発表、マスメディアでも広く紹介された。

学校の授業で取り上げられる機会も多い。

また、1995年発表した『九条』は、新たに日本国憲法第9条の条文に曲をつけたもので、流麗なメロディーに、被災地の祈りを連想させる鐘の音が印象的な、美しい一曲に仕上がっている。さらに代表曲のひとつとして人気の高いのは第3弾アルバム「Lovely Day」で発表の『ヒロシマの有る国で』であろう。この曲は発表以来、核兵器廃絶を願う人々の愛唱歌となっている。音域の広いソフトな歌声と、人間に対する優しさ、気取りのない素朴な人柄とエネルギッシュな行動力が魅力である。



◇ご希望の方は直接いらしていただいて結構です。前売りも事務室にて取り扱っております。

○11/12 (土)

野毛山幼稚園

ゴスペルサークル チャリティーコンサート

ゲスト サニーサイドゴスペルクラブ横浜

14:00～ おとな500円 子ども300円

○11/18 (金)

カフェ シャローム

ケーキ販売、喫茶

手作りケーキの販売です。ぜひ、お立ち寄りください。

今までの支援先に加え、野毛山キリストの教会と同じ系列の「キリストの教会東日本支援会」に対しても支援をしていきたいと思っております。

保護者の方よりいただいた「夏のおたより」より

今年は梅雨が短かったので、子どもたちと喜んでいたのですが、いざ夏休みに入ると7月末から雷や台風…3月11日以降の余震、目に見えない放射能におびえながら生活していたように思います。

また、野菜や果物などの風評被害が多い中、母親として何を選び、どうすることが一番良いことなのか…迷うことばかりでした。スーパーへ行くと、どっさりおかれたままの福島県産のきゅうりや桃…それらを眺めていると、おばさんに話しかけられ、「福島の桃ってどうなの？」と聞かれることがたびたびありました。娘からは「桃、いいにおいだね…買って!」とか、「どうしてこの桃買ってくれないの?」と言われても、明確な理由が言えず買えない私が今もいます。山梨県産の桃を見つけて、ほっとして手にとる私もいます。そんな時、夏休み前に園長先生から教えていただいた8月6日広島原爆投下のことを思い出しました。そして6日の夜中にたまたまつけたNHKの追悼番組を見ました。被爆された方たちが、自分の経験を手紙につづってナレーターがそれを読んでくれるというものでした。匿名が書かれていて「自分の前に友人が立っていたおかげで自分は助かった…友人は一瞬で黒く焦げてしまい、亡くなった辛さ…私たちだけが生き残ってしまっでごめんなさい…」と謝る場面があったり、生き残ったことが本当につらい現実の始まりだった…被爆者には、国から税金が出たため、税金どろぼうとののしられ、被ばくの影響でガンなど引き起こすため、二次被害の病いで早くに亡くなる方たちもいたということ…」など、自分の名前すら公表できず、匿名でしか書けなかった方の思いが手紙から知ることができました。そして、生きている間中、ずっと痛みが消えないことを痛感し、涙が止まりませんでした。

私が今知らず知らずのうちにしていることは、食べ物を作っている生産者の方たちを苦しめ、その家族を苦しめ、昭和20年のあの時代と同様差別してしまっているのだろうか…と感じ、胸が痛くなりました。

今、被災された方のために何をしたらいいのかと考えても募金しても、すべての気持ちが晴れることはありません。ただ、母親として夏休み、育児をしてちゃんと生きている、生かされていることにありがたいと感じ、イライラして怒ることもありましたが、一番単純に健康でいられることに幸せを感じられた夏休みでした。今までの夏休みとは少し感覚が違い、原発のこと、育児、成長に長い目で見続け、迷いながら日々暮らしていきたいと思います。



発行 2011年10月28日
小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30番地
野毛山幼稚園

根岸ひろみ 内田 幸子 上條 順子